

「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関する報告

令和4年度より作成を進めている、「千葉市文化財保存活用地域計画」について、作成状況に関して報告します。

1 令和5年度の取り組み状況

(1) 計画案の作成作業

- 千葉市の歴史文化の特徴検討
- 計画で取り扱う文化財の範囲の検討
- 計画作成の背景と目的の整理
- 文化財の保存活用における課題の抽出
- 課題解決に向けた方針、取組の検討

(2) 第2回千葉市文化財保存活用協議会の開催

日時：令和6年3月15日（金）10：00～12：00

- 議題：（1）作成スケジュールと進捗報告・・・報告事項（資料2-2-1）
 （2）本計画作成の背景と目的・・・協議事項（資料2-2-2）
 （3）本計画で取り扱う文化財の範囲・・・協議事項（資料2-2-3）
 （4）千葉市の歴史文化の特徴・・・協議事項（資料2-2-4）

(3) 文化財リストの作成

既往の文化財把握調査報告のうち、今年度は以下の2冊を対象にリスト化を行った。
 次年度以降も、継続的に文化財リストの作成を進めていくとともに、把握した文化財の現状把握を進めていく必要がある。

- 千葉市金石文調査 1981：千葉市文化財調査報告書第五集 『路傍の石仏』 千葉市教育委員会
- 千葉市の民俗芸能調査 1981：『千葉市の民俗芸能』 千葉市教育委員会

(4) 市民ワークショップの開催 全2回

第1回：令和5年12月17日（日）、第2回：令和6年1月28日（日）

「大切にしていきたい地域のおたから」は何か、「次世代につないでいくには何ができるか」を市民と一緒に考えることを目的に開催した。「千葉氏」と「海辺」に関する地域のおたからの掘り起こしを行うとともに、市民主体で実施可能な保存・活用の取り組みについての意見交換を行った。

2 作成スケジュールについて （資料2-2-1 作成スケジュール参照）

- 令和6年12月 市計画原案の完成
- 令和6年12月～ 文化庁による内容確認
- 令和7年5月～ パブリックコメントの実施
- 令和7年8月 市計画の完成 文化庁に申請
- 令和7年12月 文化庁による認定

千葉市文化財保存活用地域計画 作成スケジュール(R7 後期認定)

20240319

R4	1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	保護審議会												意見聴取
	協議会										協議会設置/第1回		
	調 整						文化庁協議						
	地域計画 作成	計画の素案作成											
文化財リストの作成													
アンケート調査結果の分析													
市民講座													

R5	2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	保護審議会												意見聴取 第2回 3/15
	協議会												
	調 整											文化庁協議 3/5	
	地域計画 作成	計画素案の作成											
文化財リスト作成													
関連文化財群検討													
歴史的背景・歴史文化の特徴検討													
第4章(将来像)検討													
第5章(課題・方針)検討													
第6章(取組)の検討													
WS①		WS② 1/28											

R6	3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	保護審議会						意見聴取			報 告				
	協議会				第3回		第4回			第5回				
	調 整			文化庁 協議		文化庁 協議	計画案の 取りまとめ 全体調整		文化庁 協議	市計画 原案 完成	文化庁 計画担当調査官 確認			
	地域計画 作成	計画案の作成						庁内調整			修正			
文化財リスト作成														
歴史的背景・歴史文化の特徴、 関連文化財群検討														
第4章(将来像)検討														
第5章(課題・方針)検討														
第6章(取組)の検討														
推進体制の検討														

R7	4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	保護審議会					報 告	※議事録提出要						
	協議会					第6回	※議事録提出要				第7回	※補助対象外	
	調 整					市計画 完成 申請	文化庁 各部門 調査官 確認		関係省庁 意見照会		認定		
	地域計画 作成	修正	パブリックコメント		修正		指示 事項 のみ		パンフレット作成・印刷 シンポジウム開催等				

千葉市文化財保存活用地域計画作成の目的、基本方針等

【計画背景】

<社会的背景>

- 自然災害の増加・甚大化、都市開発等の増加
- 人口減少、少子高齢化、地域コミュニティの喪失
- 都市化による生活様式や価値観の変容



<文化財の現状>

- 未指定文化財や歴史的景観の滅失
- 保存・活用の担い手不足、文化財の継承危機
- 関心・ニーズの多様化

【計画作成の目的】

上記の背景を踏まえ、地域総がかりで文化財の計画的な保存・活用を進めるために、「千葉市文化財保存活用地域計画」を作成します。

【基本目標(将来像)】

(フレーズ)



文化財の価値や
魅力を「知る」
(調査・研究)

地域の中で「守る」
(保存・管理)
(防災・防犯)

地域の中で「活かす」
(活用・情報発信)

「人のつながりをつくる」
(人材育成・体制整備)

※市民・所有者・企業・研究機関・行政などが取組主体となり、上記4点を実施することを表現するフレーズが入ります。

【基本方針】

「知る」

未指定文化財も含め、保存・活用する文化財を広く把握し、その価値や魅力を明らかにする。

「守る」

適切な保存管理で文化財を次世代に確実に伝えていく。

「活かす」

文化財の魅力的な公開・展示、情報発信によって文化財を知る・見る機会を創出する。

「人のつながりをつくる」

文化財の保存・活用の担い手を育成するとともに、多様な主体の連携を推進する。

【具体的な取り組み】

「知る」

- 文化財の現状把握と調査結果の共有
- 文化財の価値や歴史文化の調査・研究と成果の共有

「守る」

- 文化財の計画的な保存管理
- 文化財の収集・保管
- 防災・防犯

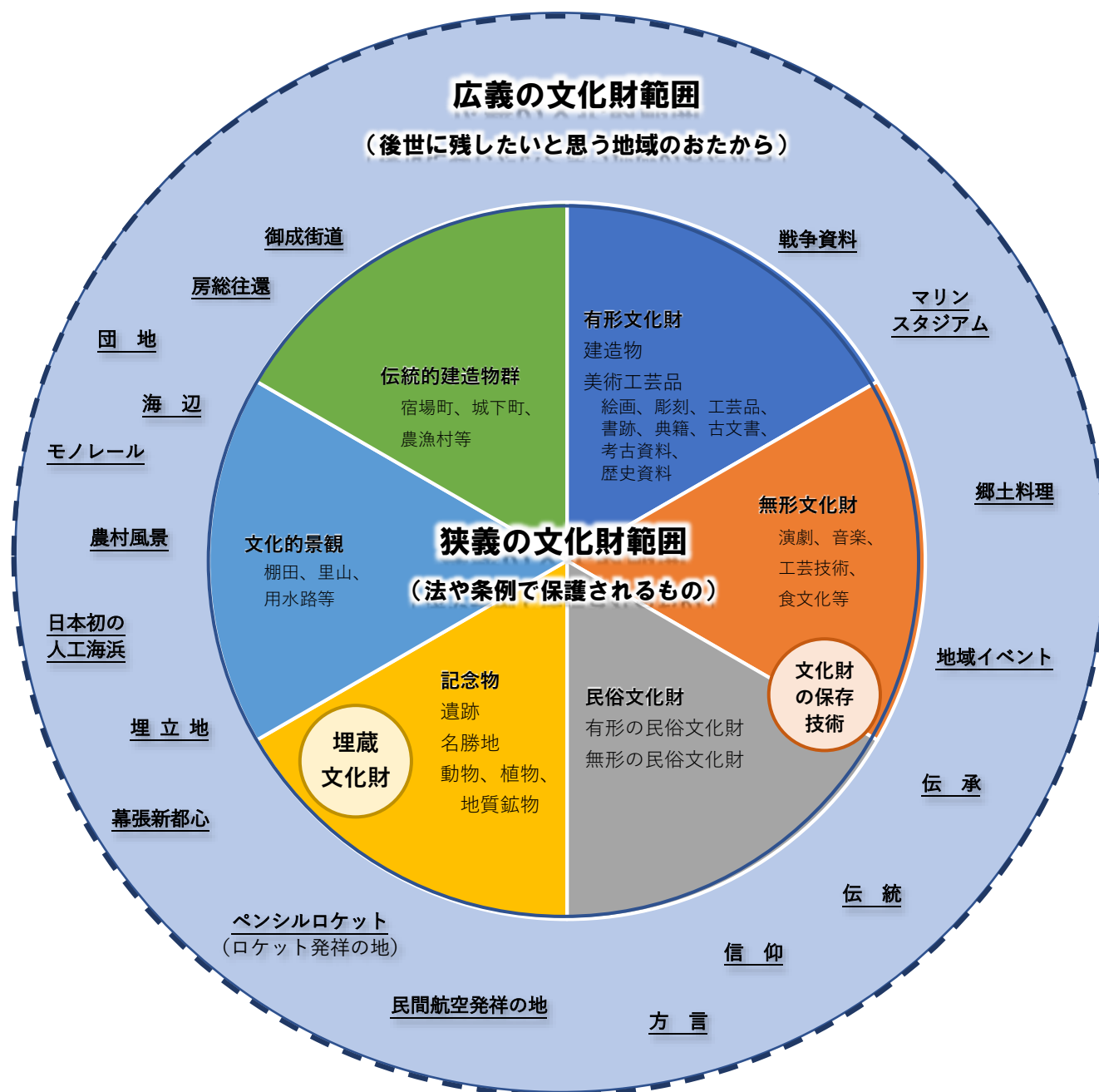
「活かす」

- 文化財の公開・展示
- 文化財情報の発信・教育普及
- 史跡の価値や魅力を伝えるための整備・活用
- 文化財の一体的な活用

「人のつながりをつくる」

- 文化財所有者への支援強化
- 保存・活用の担い手の育成、支援強化
- 多様な主体が連携しやすい体制の整備
- 文化財担当部署の人材確保と育成

本計画で取り扱う文化財の範囲



【広義の文化財範囲】

狭義の概念に捉われることはなく、市民や地域の人々が後世に残したい、残すべきと考えるものは、文化財として保存・活用の対象とする。

市として保存活用の対象と考えている要素の他、これまでに開催した協議会や市民ワークショップ等の場で、保存・活用の対象とするのか話題に上がったものを例として示した(マリンスタジアムやモノレールなど)。

千葉市の歴史文化の特徴の検討

時代	時代ごとの特徴	主要要素
旧石器	千葉市最初の住人 ー千葉は狩猟の好適地ー	・土気地区での活発な狩猟活動 ・狩猟の好適地（尾根と尾根が交わる場所）
縄文	大型貝塚の形成と加曽利貝塚 ー貝塚のまち 千葉ー	・貝塚から分かる豊かな海産・陸産資源 ・物流ネットワークの形成（石材・土器） ・土偶や埋葬/自然への祈り ・加曽利貝塚の重要性（学史的ほか）
弥生 ・ 古墳	他地域との交流	・海辺の古墳と集落 ・九十九里地域との交流（人形塚古墳） ・畿内地域との交流（七廻塚古墳など） ・古墳後期の人口増加、群集墳（おゆみ野地域の古墳群の様相） ※有力豪族の不在⇒群集墳の増加
奈良 ・ 平安	「千葉」のはじまり	・上総と下総を結ぶ場所（交通網の整備（東海道・駅家（河曲駅）） ・土気地区の発展（上総国分寺との関係） - 地名：「千葉」のルーツ ・民衆仏教の広がり
中世	千葉氏の活躍とまちづくり	・鎌倉幕府の創設と千葉氏（名族の誕生）、全国に広がる千葉氏（京都とのつながり） ・房総の玄関口としてのマチの発展 ・中世都市千葉のまちなみ ・千葉氏の妙見信仰（「千葉」妙見の成立、現在に伝わる千葉氏の遺産）
中世	戦乱の千葉	・原氏の本拠、小弓公方足利義明の御所（戦国時代の千葉は古河と並ぶ関東の政治的中心地だった。） ・千葉氏と里見氏の抗争の地となった水陸交通の要衝である生浜地域
中世	上総七里法華と酒井氏	・七里法華 ・日泰上人 ・不受不施派 ・土気城と酒井氏
近世	江戸と各地を結ぶ場所	・徳川家康と千葉（千葉御殿・御成御殿、御成街道） ・街道（房総往還、土気往還、東金往還） ・湊（曾我野の湊、浜野の湊）、五大力船 ・印旛沼掘割普請 ・小間子牧と下野牧（野馬土手）・牧士（千葉氏遺臣） ・相給支配（平川村三給色別給図） ・青木昆陽とさつまいも ・入会野としての原野、新田開発（長沼新田、小塚新田、川野辺新田） ・用水（丹後堰・草刈堰）の開削 ・漁業（打瀬船、貝類の産地） ・近世千葉町と妙見寺
近代	軍郷千葉の成立と近代化	・軍郷千葉と千葉空襲 ・保養地稲毛 ・民間航空発祥の地 ・漁業（打瀬船、貝類の産地、海苔の養殖）
現代	新しいまちづくり ー戦後復興から政令市へー	・交通網の発達（千葉港、京葉道路、国鉄・私鉄・モノレール） ・漁業の衰退と埋立ての進展 ・増加する人口、立ち並ぶ団地 ・内陸部工業地帯の発展、川鉄誘致 ・幕張新都心（人工海浜・マリンスタージアム・幕張メッセ） ・政令指定都市への移行 ・プロスポーツ（千葉ロッテ、ジェフ千葉他）



千葉市の歴史文化の特徴

①陸と海の結節点

②人とモノが
行き交う地③祈りや信仰が
生んだ歴史文化